

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2025年9月号(年3回発行) 第168号

2市1町国際化会議が富士見市で開催されました。

2025年8月21日、富士見市役所会議室において令和7年度2市1町国際化会議が開催されました。2市1町国際化会議は毎年1回、「外国籍市民のための生活相談」や「生活ガイドホームページ」を委託していただいている「ふじみ野市、富士見市、三芳町」とFICECが外国人を取り巻く近況を報告し、課題を話し合う会議です。

この会議は2市1町が輪番で幹事を務め、今年は富士見市が司会進行を担当しました。FICECは室井理事長など5名が出席しました。自治体側からはふじみ野市協働推進課、富士見市文化・スポーツ振興課、三芳町総務課より計6名が出席しました、

会議は、最初にFICECから2024年度事業報告を行い、続けて2市1町から「国際関係事業の状況及び今年度予定」が報告されました。

日本語教育が必要な児童・生徒の受け皿の拡大に向けた意見交換

後半では、FICECから「日本語教育が必要な児童・生徒の受け皿の拡大」について、以下のような課題提起を行い、現状が共有されました。

- ・埼玉県内の外国人は急激に増加していること
- ・2市1町でも同様の傾向が見られ、児童・生徒数は約10%増加していること
- ・早期の対策が必要であること

これらの課題に対し、FICECの具体的な事情を交えながら活発な意見交換が行われ、対策の必要性について共通認識を深めることができました。

また、日本語教育が必要な児童・生徒の受け皿を拡大することについては、出席した担当者から必要性は理解するが、教育委員会が対応する問題でもあり、持ち帰って庁内で検討したいとの話もありました。

さらに、各自自治体間及び各庁内の横のつながりも課題であることが分かりました。

今回の会議は、それぞれが一方向的に報告して終わるのではなく、具体的な事例を通して今後の方向性を確認する貴重な機会となりました。今後も「FICEC+2市1町」の連携、協力を大切にしたいと思います。(副理事・永田信雄)

外国籍住民の増加率

地域	R6	R7	増加数	増加率
埼玉県	249,327 人	262,382 人	13,055 人	5.2%
ふじみ野市	3,491 人	3,920 人	429 人	12.3%
富士見市	3,441 人	3,722 人	281 人	8.2%
三芳町	1,066 人	1,126 人	60 人	5.6%

2025年夏のインターンシップ生を迎えて

今回の7月8日～8月12日のインターンシッププログラムはコロナ以来久しぶりの実施でした。当センターのメイン事業である日本語支援、外国ルーツの小・中学生対象の学習支援及び15歳以上の就学支援、小学校でのお出かけ国際理解講座などを学び、又、バングラデシュ、ネパール、フィリピン人の異文化体験とインタビュー、それを踏まえたケーススタディ、ワークショップを行いました。(三宅万里子)



FICECに通っている外国人にインタビューしたり、「上福岡七夕まつり」に参加したりと短い間でしたが、たくさんの方に関わっていただきました。最後はスタッフ会議でインターンシップについてのまとめを発表して終了となりました。

インターンシップを終えて

インターンシップをさせていただく前は、なぜ日本に住みたいのか、どんな背景や思いを持って日本に住んでいるのか想像ができませんでした。しかし、実際に日本で暮らしている外国人の方のお話を聞いていくと、「日本で子育てをしたいから」という思いを持ちながら暮らしている方や、日本人との国際結婚によって日本で暮らしているケースなど多種多様であることが分かり、一概にすべての人が出稼ぎに日本に来ているわけではなく様々な思いを持って日本に住んでいるのだと気づくことができました。そして、15歳以上の就学支援の話聞き、15歳以上で日本に来た子どもたちは高校に行くために日本語と高校受験の勉強をしなければいけないため、とても大変であるとい

日本社会事業大学 須藤 美華

う話も印象に残っています。日本語の勉強をして高校受験の勉強をするだけで大変ですが、それ以前に日本語を勉強できる多文化フリースクールや夜間中学が少ないのだと知り、外国人のための教育のシステムの問題点について考える機会になりました。また、高校に行けたとしても高校を中退してしまう子も多いという事実も改善していかなければいけない問題なのだと思い印象に残っています。

末尾になりますがここまでお読みいただきありがとうございました。短い期間でありましたが、多くのことを考えさせられるインターンシップで、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました！

「入管法の基礎知識」勉強会を開催して

— 外国人との共生社会に向けて、支援者に求められる第一歩 —

行政書士 戸田 公久(埼玉県行政書士会 東入間支部)

先日、「入管法の基礎知識」と題した勉強会を、スタッフ会議に続いて開催しました。

スタッフの皆さんと一緒に、日本で暮らす外国人の方々にとって大切な「在留制度」について、基本から一緒に学び、理解を深める時間となりました。

入管法(出入国管理及び難民認定法)は、外国人の出入国や在留管理、難民保護などを定める重要な法律ですが、その仕組みは非常に複雑で、多くの関連制度や手続きが存在します。加えて、2023年・2024年には在留特別許可の手續創設や補完的保護制度の導入、マイナンバーカードと在留カードの一体化など、大きな法改正が相次いでおり、現場での対応にも影響を与えています。

勉強会では、在留資格・在留カードの基本的なしくみや、資格外活動の許可、所属機関の変更届、永住許可の要件、退去強制や在留特別許可に至るまで、現場で直面する機会の多いテーマを取り上げました。加えて、外国人が日本に入国する際の基本となる「パスポート(旅券)」と「ビザ(査証)」についても触れ、制度の入口となる段階から理解を深めていただきました。

私は「日本を第二の故郷に」という思いで、外国人の方々が安心して暮らせる社会の実現を目指し、日々の支援活動を続けています。そのためには、支援者自身が制度を正しく理解し、適切な判断や助言ができる力を身につけていくことが重要だ

と感じています。

今回は限られた時間の中で全体を駆け足で概観する形式となりましたが、今後は一つひとつのテーマをより丁寧に掘り下げ、実例を交えながら学ぶ機会を設けていきたいと考えています。

学びを通じて支援者同士のつながりが深まり、多文化共生社会の実現に一步步近づいていくことを願ってやみません。

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。次回の勉強会でも、また一緒に学ぶことを楽しみにしています。





FICECに訪れる外国人ルーツの学習者との 日々の交流が面白い

水野 毅

こんにちは。FICECで日本語指導のボランティアをしている水野と申します。今年で還暦プラスワンです。東京で勤め人をしておりましたが、早期退職して「日本語教師」になろうと思いき、埼玉大学の大学院に入り資格も取ったところでコロナ流行でした。院は卒業したものの就職もままならず右往左往していたところ、そういえば家の近所にFICECがあるなあと思い出して、ボランティアを願い出てうれしくも採用してもらいました。それから現在まで、結局就職せず他でバイトをしながらボランティアを続けています。何でかなあと思うに、FICECの皆様と、FICECに訪れ続ける外国ルーツの学習者の皆様との日々の交流が面白いからなんでしょうね。

理事紹介



外国の方にとっても日本が「第二のふるさと」になれるように

戸田 公久

はじめまして。行政書士の戸田と申します。今年から「ふじみの国際交流センター」の理事をつとめさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで私は、外国の方々日本で安心して暮らしていけるよう、在留資格の手続きや、結婚・離婚などの家族に関する事、お店を始めるときの許可申請など、いろいろなお手伝いをしてきました。

また、ふじみの国際交流センターでは、月に2回、無料の行政書士相談を行っており、在留資格や日々の暮らしに関するご相談にのる活動を続けています。

ふじみの国際交流センターが参加する地域のイベントにも関わっており、たとえば七夕まつ

我ながら行き当たりばったりで意識も高くなく不謹慎なことだなあと思いつつ、今日もFICECの日本語教室に通う次第です。

ところで唐突ですがことばって面白いですね。先日は「ワンチャン(one chance)」と「ワンちゃん」の語呂合わせに急につまずき、そういえば「ワンちゃん」はあっても「イヌちゃん」とは言わないなあ、とか、それなら「ネコちゃん」とは言うけど「ニャーちゃん」とは言わないけど何でかなあ、とか考え込んでしまいました。(「イヌちゃん」「ニャーちゃん」いずれも使用例はわずかながらありましたが。)そんなお話を皆様とできたらいいなあと思いつつ。どうかよろしく願います。

りでは、ピンボールコーナーを担当するなど、みなさんと楽しく交流する機会を大切にしています。

言葉や文化の違いがあっても、まずはおたがいのことを知ること、あいさつや声かけから始めていくことが大切だと思っています。そして、もし困っている方がいたら「どうすれば手助けできるかな」と考えて、一歩踏み出すことができれば、きつともっとやさしい社会になるのではないのでしょうか。

これからも、地域の皆さんと力を合わせて、外国の方々にとっても日本が「第二のふるさと」になれるよう、少しずつできることを続けていきたいと思っています。

国際理解講座@富士見市内小学校 レポート



7月11日、富士見市の小学校で、フィリピン、ウイグル自治区(中国)、韓国の文化を紹介する国際理解講座が開催されました。外国籍のスタッフとボランティアが講師となり、2時間にわたって子どもたちに各国の魅力を伝えました。

1時間目はスライドショーを使って各国の文化、風習、教育、地理などを説明。第2部では、子どもたちが発表したり質問したりする時間が設けられ、活発な交流が生まれました。

講座の最後には、フィリピンの「ジャックストーン」、中国の「老鷹抓小鸡」、韓国の「チェギ

チャギ」といった伝統的な遊びをみんなで体験。言葉の壁を越え、遊びを通じて異文化に触れる貴重な時間となりました。

現代の学校では、様々な国にルーツを持つ子どもたちが共に学んでおり、多様性は当たり前になっています。そんな中、今年で23年目を迎えたFICECの国際理解講座は、「みんながって、みんないい」というメッセージを広め、子どもたちが互いを尊重し、理解する心を育む大切な機会を提供しています。(安 銀柱)

「ふじみ野市七夕まつり」は暑かった！

体感40度越えの8月2日と3日、FICECは七夕まつりに参加しました。毎年好評の「ピンボール」に加え、今年は「わなげ」も行いました。「わなげ」はスタッフや国際子どもクラブの子どもたちの手作りです。2日間の来客数は約1,200人。当日はスタッフだけでなく、日本語教室や国際子どもクラブのボランティアや学習者、スタッフのご家族も駆けつけてお店を盛り上げていただきました。

ふじみ野市には、いろいろな国の人たちが暮らしていること、「ふじみの国際交流センター」があることを広く知ってもらう機会になりました。



富士見市国際交流フォーラム2025

日時:10月4日(土曜)、午後1時～午後4時
場所:富士見市キラリふじみ、マルチホール



上:去年の「わいわいワールドトーク」の様子 下:「世界の言葉で書いてみよう」

地域の国際化が進む中で、多様な文化について互いに理解を深め、ともに豊かに暮らすことができる多文化共生の地域づくりを目指して、富士見市では毎年国際交流フォーラムを開催しています。

FICECは午後1時20分から「わいわいワールドトーク」のコーナーで、外国籍の方々、一般参加の方たちを交えて、日本の暮らしや多文化などについて意見を交わすイベントを行います。

他にも、世界の言葉で書いてみよう、フィリピンのダンス、二胡の演奏、太鼓の演奏体験、着物や民族衣装の試着、セルビアフェスタ、お菓子の配布、世界のお茶の試飲、スタンプラリー、国際交流関係団体の展示などもあります。どうぞお越しください。

(茂木久美子)

上福岡西公民館まつり 「ピンボール」と「わなげ」で遊ぼう！

日時:9月7日(日曜日) 10:00～14:00
場所:上福岡西公民館2階 団体連絡室

◆ふじみの国際交流センターは今年も西公民館まつりに参加します。

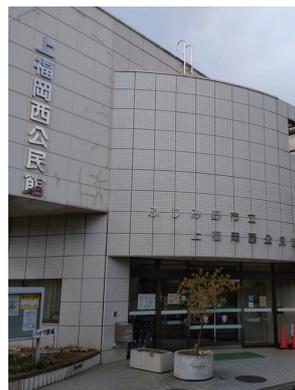
昨年は「ピンボール」に挑戦する子ども達の長い行列ができました。今年はオリジナル「わなげ」も準備してみなさんをお待ちしています。

入場料200円で「ピンボール」と「わなげ」が遊べます。お菓子の景品付きです。

◆上福岡西公民館は9月28日をもって閉館します。大規模改修工事が行われ、令和9年夏に新しい文化施設としてオープンする予定です。

西公民館はFICECの総会会場として、また図書館や「歩歩」も利用させていただき、長い間大変お世話になりました。

◆最後の上福岡西公民館まつりです。お子さんと一緒に遊びに来てください。



お知らせ

国際子どもクラブ・FICEC日本語教室で ボランティアを募集しています



電話またはHPからお問い合わせください。

ボランティア申込みフォームへ

国際子どもクラブ

外国にルーツのある子どもに日本語や宿題などを教えます。学習後遊んだりします。

大学生以上、社会人の方をお願いします。

時間：毎週土曜日 9:00～11:30

場所：ふじみの国際交流センター

FICEC日本語教室

外国人の大人対象の日本語教室です。

未経験の方でも大丈夫です。大学生以上の方、お願いします。

時間：毎週月・木曜日 10:00～11:30

場所：ふじみの国際交流センター

ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみなさま、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5

ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

または、現金書留でお願いいたします。



FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

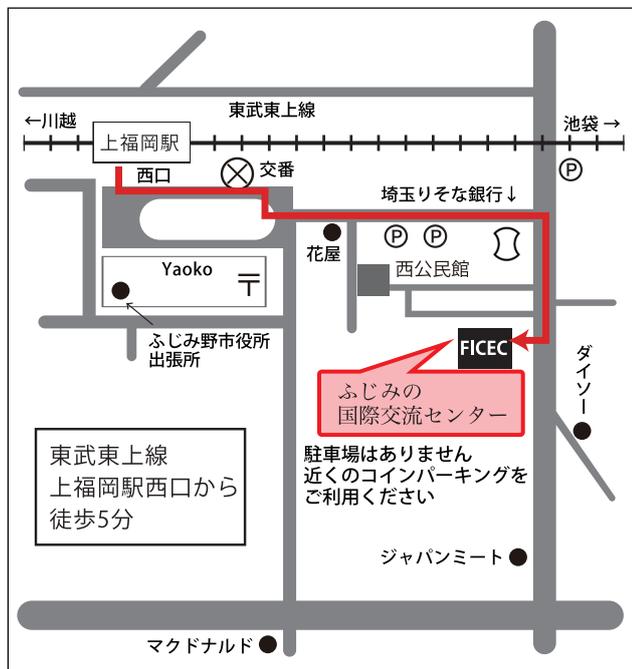
郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人

ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2024年8月1日～2025年8月15日(敬称略)

穴沢エミリン、新井順子、新井良司、安銀柱、飯島美穂、石井絆、石山達也、伊藤愛、伊藤正子、上島直美、江釣子孝一、大野渉、大場弥太郎、岡本直久、小熊千寿子、尾崎功、折橋美義、柏木ひろみ、片倉ミン、(株)吉岡、神田順子、北林ジャネット、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、栗嶋三千代、栗田吉雄、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、酒井有香、佐藤義治、芝山喜巳子、島田敏郎、島原亜里、ジャリアヌソルン・ジェット、進洗子、ゾシスザン、高橋博、高橋真梨子、竹名潤一、チンテイヴァン、塚本秀樹、戸塚成子、豊枝洋子、内藤忍、野添直美、ハオヤンリ、長谷川正江、藤井みどり、藤澤園子、藤巻則幸、水野毅、茂木久美子、森田有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、吉田憲郎、和田弘、匿名2名

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、小林久美、末吉智子、仲野京子、野田恭三、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター サービス案内 (詳しくはお問い合わせください)		
外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+事務費+税
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)+税
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+税
	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書等	A4 3,000円/ページ+税
通訳	半日6,000円+税	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日+税

※別途交通費がかかる場合があります